

2023年4月14日(金) ハコラク5月号 掲載

ドクターコラム『「下肢静脈瘤」という病気』

心臓血管外科 村瀬 亮太 科長

かししょうみやくりゆう

## 「下肢静脈瘤」という病気



函館中央病院  
心臓血管外科  
村瀬 亮太 科長

足の血管がポコポコと浮き出ているのを見たことがありますか？これは下肢静脈瘤という病気の可能性があります。下肢静脈瘤とは、足（下肢）の血管（静脈）がコブ（瘤）のようにポコポコと浮き出てくる病気です。下肢静脈瘤の原因のほとんどは足の静脈の逆流です。人間は普段立って生活をしています。足の静脈というのは、足から心臓へ、つまり下から上へ、重力に逆らって血液を運ん

でいます。これが何らかの原因で足の方向へ逆流してしまい、足の静脈に負担がかかって血管が拡張してしまいます。立ち仕事をしている人に特に多いと言われ、それ以外にも出産や遺伝も原因になります。症状にはさまざまな程度があり、重症になるにつれて足の血管の拡張から足のむくみや重だるさ、湿疹や皮膚の変色、場合によっては潰瘍かいようと呼ばれる難治性なんちせいの足の傷ができてしまいます。足の

血管の拡張だけでは、治療が必要となることは少ないですが、足のむくみや皮膚症状などを起こした場合は、治療が必要なことがあります。治療方法としては、弾性ストッキングという特殊なストッキングで逆流を防ぐ方法と、手術で逆流した血管や拡張した血管を処理する方法があります。弾性ストッキングはむくみなどの症状を改善させたり、症状の悪化を予防する効果がありますが、下肢静脈瘤自体が治癒するわけではありません。根本的な治療としては手術になります。近年はレーザー手術や硬化療法という、手術の傷や身体への負担をできるだけ小さくした、手術が広く行われています。下肢静脈瘤は命に直結するよ



函館中央病院 函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

■診療科目/糖尿病・内分泌内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など、全26科目

■受付時間/8:30~11:30、13:30~16:00 ※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。

■休診日/日曜・祝日・年末年始

